

「就職ガイダンス」を開催ー人間福祉学科介護福祉専攻

7月23日（木）、福祉現場で活躍する二人の卒業生を迎えて就職ガイダンスを開催しました。

初めの講師は、介護福祉専攻10期生の熊倉宏至さんです。

現在のお仕事は、栃木県内でサービス付き高齢者住宅の施設長で、栃木のエリアマネージャーも務めています。熊倉先輩からは、仕事内容や就職活動のほか施設長の役割と課題について伺いました。また、施設長を務める立場から、「求められる介護人材」「マナー・接遇の重要性」についてお話をいただきました。



もう一人の講師は、介護福祉専攻12期生の浅見明花さんです。

卒業してわずか1年、高齢者施設でサブリーダーを務めています。浅見先輩からは、自らの体験による「介護の仕事の楽しさ」を交えた仕事内容や、「実習」「卒業時共通試験」についてもお話を伺いました。浅見さんは、重度の認知症フロアを担当していることから、学生から、認知症との関わり方に関する質問にも答えていただきました。



学生たちは、施設長やサブリーダーとして活躍する先輩たちの体験談に、真剣なまなざしで耳を傾けていました。本日、先輩たちから受け取ったエールを胸に、学生生活最後となる夏休みを有意義な時間にしてほしいと思います。